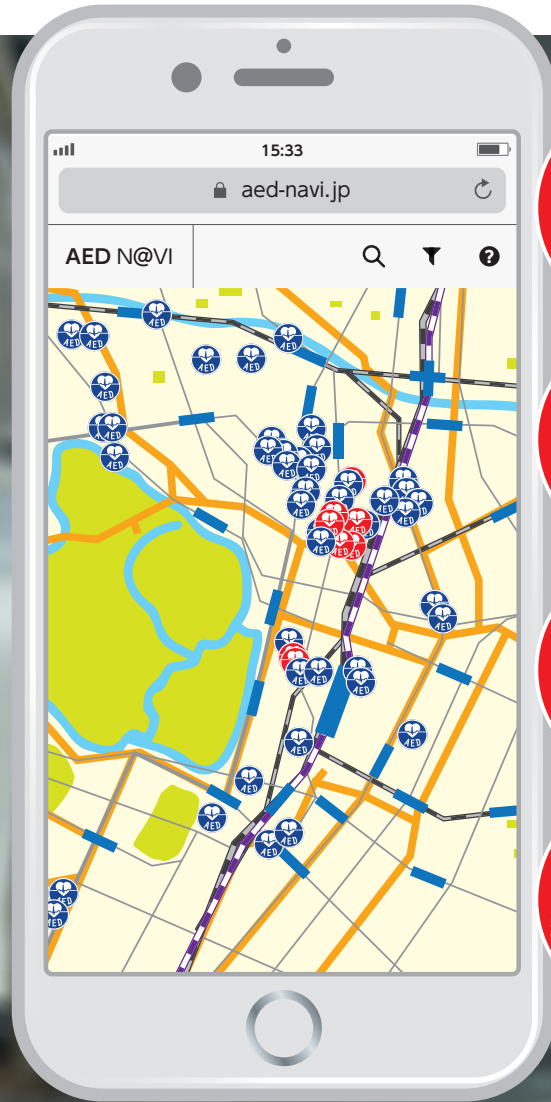


# みんなで作る スマホでマッピング! AED N@VI

みんなの力で使えるAEDの情報をシェアしていく新しいAEDマップ



心臓が止まる人  
約 **7万人**

そのまま亡くなる人  
約 **65,000人**

救命率  
**1分経過**  
約 **10%減る**

心肺蘇生とAEDで  
救命率約 **4倍**

## AEDの位置情報をシェアすることで、 迅速なAEDの使用と救命率の向上を目指します

日本で、心臓突然死で亡くなる方はなんと年間7万人！1日約200人、7.5分に1人が亡くなっています。しかし、心肺蘇生とAEDの使用によって、救命率は4倍になることがわかっています。日本に約60万台あるとされるAEDを適切に現場に届け、一つでも多くの命を救うために、AED N@VIは開発されました。

日本では、ほとんどの地域で正確なAEDの設置情報は把握できておらず、その管理水準にはばらつきがあります。AED N@VIは身近にあるAEDの設置情報を、皆で投稿して確認しながら広く共有する仕組みです。市民の皆さんの協力のもと、AEDの設置情報を正確に共有し、AEDのさらなる活用につなげることがAED N@VIの目的です。いざという時に誰かの命を救うのはあなたの情報です！ぜひご協力ください。



日本AED財団



一般社団法人  
日本循環器学会

# AED N@VIは、精度の高いAEDの設置情報をみんなで集める新しいAEDの地図です！

現在AED MAPと名前のついた、AEDの設置情報を共有するサイトは複数あります。しかし全国規模で精度の高い情報を随時更新するシステムはいまだ整備されていません。AED N@VIはHPを通じて登録されたボランティア:AEDサポーターが、周囲のAED設置情報を投稿・共有できる仕組みです。集められたAEDの設置情報は、オープンデータとして公開され、誰でも使えるようになります。

## 1 スマホでAEDの情報をUP



## 2 皆で確認して情報をアップデート



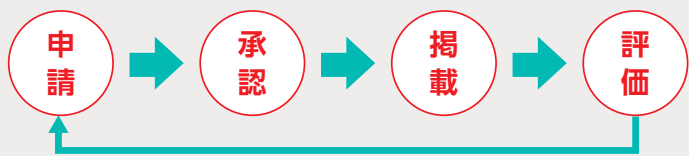
## 3 正確なAED設置情報を皆で共有



集約されたAED設置情報は、HPを通じてオープンデータとして公開

## 信頼できる設置情報が更新される仕組み

申請されたAED設置情報は、団体サポーターの承認によってマップに反映。ダブルチェックで正しい情報を掲載します。掲載後は情報の評価が可能で、悪い評価が溜まった情報は再チェックが促されます。



## はじめよう！ AEDサポーター

AEDサポーターになると、「マイページ」を通じてAEDの設置情報を申請できるようになります。

### 個人サポーター

メールアドレスのみで誰でもなれるAEDサポーター。AED設置情報の申請が可能。

### 団体サポーター

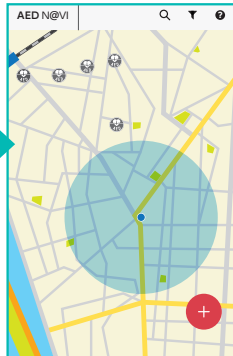
財団が承認した団体・組織と、そこに所属するAEDサポーター。AED設置情報の申請と承認が可能。

## AED新規情報申請のフロー

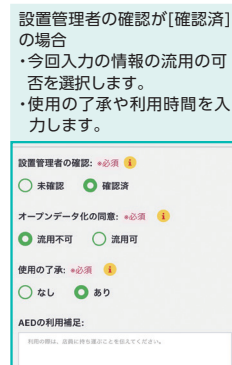
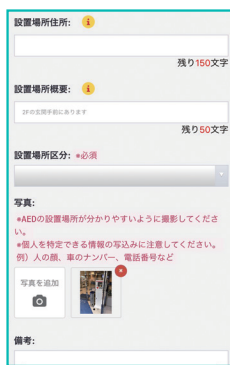
### 1 「新しいAEDを登録しよう」を選択します。



### 2 地図ページが表示されるので、画面右下の+をタッチ。



### 3 施設名、設置位置の指定、設置場所区分、設置管理者の確認の有無を入力します。必須項目以外に設置場所の概要や写真、その他備考を入力するとわかりやすくなります。



### 4 新規申請登録をタッチします。

その後申請したAED情報は承認権限を有する団体サポーターによって承認後、登録され、承認されたAED情報が地図上に公開されます。



登録完了！

皆様のご協力  
お待ちしております

各種サポーター申請や、システムの詳細、サポーターマニュアル、Q&Aについては、AED N@VIのHPからご確認下さい。



<https://aed-navi.jp/>

日本AED財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目7-13山手ビル3号館1階

